



八鹿青溪

貫徹 慎独 創造

令和5年2月22日発行
第25号

養父市立八鹿青溪中学校
兵庫県養父市八鹿町九鹿201-4

学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

凡そ学ぶ者は、以て自己の身心を成就するのみ

養父市の小中学校で取り組んでいる2月のそうあん先生の教えは「凡(おおよ)そ学(まな)ぶものは以(もつ)て自己(じこ)の身心(しんしん)を成就(じょうじゅ)するのみ」です。意味は「学ぶのは何のためか?それは自分を完成させるため」ということです。もう少し詳しく言うと「学ぶのは、自分の中にある力や才能を掘り出して、それを磨き自分を完成させるためにしていくものだ」ということです。そしてこの教えは「人の好(よ)くみると、好(よ)く見ざるとには関(かん)せざるなり」と続きがあります。学ぶことは「人がよく見てくれるかどうかなどは関係ない。学問をする者は、学ぶことによって自分の身と心をりっぱに完成させることが大切である」ということです。3年生は高校入試まっただ中ですが、面接練習での受け答えや授業の様子からは、まさしくそうあん先生の教えのように、自分の中にある力や才能を磨こうとしていることを感じます。



自分という人間の存在証明
より良く生きるため「自分ってなんだろう」と深く見つめる。一人ひとりの違い、生き方や感じ方、考え方の違いが、全ての出発点と気づく。自分という人間は、今、この世に確かに存在している。

生徒作品に言葉を添えて

本校の生徒は今月、この教えを念頭に生活し、1、2年生は一つ上の学年への準備を、そして3年生はいよいよ義務教育修了を見据え、力強く歩みを進めています。

■ デジタルシティズンシップについて学ぶ ■

2月10日(金)、2年生は講師をお招きして「デジタルシティズンシップ」について学びました。いわゆる「デジタルシティズンシップ教育」はスマホ等を活用するデジタル環境において、「行動の善悪を自分で判断する能力を身につけさせること」、「受け身で学ぶのではなく、主体的に能力を身に付けること」を目的としています。単にルールや規制を守るのではなく、健全に・安全に・他者に迷惑をかけずにICT機器を活用していくためのルールや倫理観を修得することを目指しています。これまでの「情報モラル教育」から一歩進んだ学びの時間となりました。学んだことを自分ごととして、日常生活や日々の学びに取り入れることが大切だと考えます。



■ 「ひょうごっ子ドリームプロジェクト」 ■ ～全校生でタイピング選手権～



各クラス一斉にチャレンジ

2月8日(水)、全校生でタイピング選手権を行いました。自分のタブレットを使って、校歌の歌詞を2分間でどれだけ正確に打ち込めるかを競い合いました。この取組は本校の「ひょうごっ子ドリームプロジェクト」の一環で、コロナ禍により教育活動が制限される状況が長引く中、生徒の自尊心・自立心、夢を持って主体的に行動できる力を育成するため、子ども達が仲間との協力によりチャレンジできる競技や活動を推進しようとするものです。学年対抗の結果は、なんと1位1年生、2位2年生、3位3年生となりました。

高校生までに身につけておきたい力 中2の3学期は中3の0学期

八鹿高校西村先生の講話より 12月に2学年のPTA活動で「進路学習会」を開催しました。八鹿高校の西村健次先生を講師に迎え、「高校生までに身につけておきたい力」と題して講演していただきました。八鹿高校1年生の実態を踏まえたお話は大変説得力があり、2年生にとっては自分の進路実現について考える契機となりました。

1 中学校と高校ではどこが違うのか

- 高校は義務教育ではない。高校生は主体的に行動し、自己責任を負う自覚ができる。
- 学習量が圧倒的に多く、学習の進度もとても速い。毎日予習復習をしていないと追いつけない。基本的に宿題はない。学習は自分の意志で工夫してするもの。
- 高校によって学習内容が違う。科目数が格段に増える。自分たちのやる気が基本である。

2 中学校で身に付けたい力

- 基礎的な学力。高校での学習は中学校での学習が土台で、授業を基本にして予習、復習をする習慣を付ける。
- 基本的な生活習慣は、学習や部活動より重要。生活の基本である「朝起きる」「3度の食事をする」「遅刻せずに登校する」「睡眠を充分にとる」を当たり前とする。

<生活の3点固定> 次の3点の時間を固定することが重要

- ① 朝起きる時間の固定
- ② 家庭学習の開始時間の固定
- ③ 就寝時間の固定

3 高校で伸びる生徒の特徴とは

- ・高校で伸びる生徒の特徴を示すと、以下のことがあげられます。
- ①授業を一生懸命に受ける生徒
- ②部活動を一生懸命に取り組む生徒(活力を持っていて、踏ん張りがきく)
- ③人の言葉を謙虚に受け入れる生徒(素直さということにもつながります)
- ④欠席・遅刻のない生徒
(生活習慣を整え、真面目に、自分に厳しく、社会のルールを身に付けることです)
- ⑤目標を持っている生徒(具体的な進路設計を持ち、それに向かっていること)
- ⑥質問をよくする生徒(尋ねて知ることは意外と多い。視野を広げることが大切)
- ⑦家庭での学習習慣を身につけている生徒(とても大切なことです。3点固定です)
- ⑧継続的に毎日学習する生徒(継続は力なり)
- ⑨掃除を一生懸命にする生徒(物事に集中して働くことは大切)



■ 文化・芸術関係の受賞者 ■

【第54回但馬中学校書き初め大会】

(敬称略)

優秀賞 和田実優(3年) 特選 橋爪咲希(1年)

入選 土井星奈(3年) 福田紗代(3年) 宿南尊哉(2年) 森本幸太(2年) 寺田桜彩(1年)

佳作 太田垣智哉(3年) 片山瑠菜(3年) 田中温祐奈(3年) 村上伊織(2年)
飯野菜々美(2年) 木谷咲良(1年) 齋藤来海(1年)

【兵庫県中学生作曲コンクール】 佳作 長島光陽(3年) 太田垣美玖(1年)

【第8回養父市学校給食コンテスト】

ホームラン賞(養父市最優秀賞)「和の極み～地産地消で召し上がれ～」

1年1組チーム: 齋藤来海・藤原芽子・森田拳矢・横山偉織(以上1年)



学校HP更新中

学校での生活の様子や部活動の結果などを随時更新していますのでご覧ください。



◆ 今後の主な学校行事について ◆

- 第13回卒業証書授与式: 3月8日(水) 9:00開会
- ※規模を縮小し、卒業生、保護者、教職員のみで挙ります。在校生は登校しリモートで参加します。
- 1年PTA行事 職業調べ発表会: 3月13日(月) 5・6校時
- 期末懇談会: 3月16日(木)・17日(金)
- ※希望家庭のみの懇談会とします。事前に希望をお聞きます。
- 令和4年度修了式: 3月24日(金)
- ※今後の感染拡大状況次第では、予定の変更もあります。ご了承下さい。